

【1】高島プログラムに基づく具体的な取組

(1) 15年間を見通した教育実践

湖西中学校区では、区内にある保育園・幼稚園を含めた保幼小中一貫教育を進めており、「目指す15歳の姿」を設定し、15年間の子どもの育ちを一覧にして教育実践に活かしている。本年度も、5校園それぞれの教職員からなる「確かな学び部会」において、事前・事後の研究会を伴う保幼小中のつながりを意識した保育・授業の共同研究を行った。

<保幼小グループ>

- 研究保育 7月25日 なのはな園5歳児
- 研究授業 9月20日 新旭南小1年 算数科

<小中グループ>

- 研究授業 6月22日 新旭北小5年 外国語活動
- 研究授業 7月10日 湖西中2年 英語科
- 研究授業 10月18日 新旭北小6年 外国語活動
- 研究授業 12月4日 湖西中2年 英語科



7/25 研究保育の様子

(2) 小学校の教科担任制について

実施教科：算数科・外国語活動

実施学年：新旭南小学校 6年生（算数・外国語活動） 5年生（外国語活動）

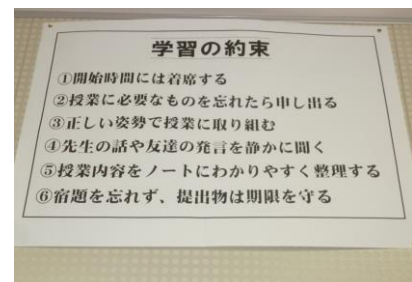
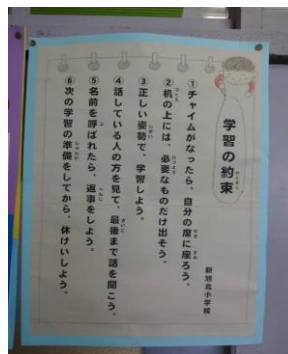
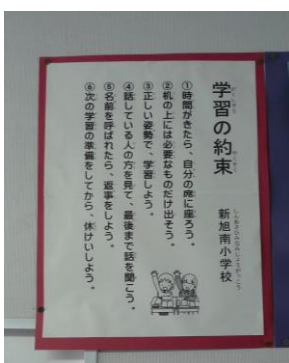
新旭北小学校 6年生（算数・外国語活動） 5年生（外国語活動）

- ・算数専科による専門的な指導と、担任によるきめ細かな個別支援を併せた授業を行っている。
- ・本年度は、外国語専科及びALTによる専門的な指導も行うことができた。
- ・両小学校5,6年生において上記のような専科指導を行うことにより、中学1年生の数学科や英語科の学習をスムーズに進められるソフトランディングプランの一助となっている。



5年生 外国語活動の様子

(3) 学区内で統一した「学習規律」の継続と徹底



小学校（←）中学校（↑）の教室掲示

時刻を守って行動すること・必要な物を意識した学習の準備・正しい姿勢・人の話の聞き方などの統一項目から、校種で「学習の約束」を設定し、全職員で継続した取り組みを行っている。上の写真のように、全ての教室に掲示して児童・生徒・教師が常に意識をすることで、指導の徹底も図っている。継続した取り組みにより、その効果も現れてきている。

【2】平成30年度湖西中学校区の「NEXT ONE」

(1) 地域学校協働本部との連携

湖西中学校区では、地域学校協働本部の事務所が湖西中学校の図書室に置かれ、＜学問は自分のためだけにするものではなく、身につけた力を社会に役立てる事が大切である。＞という清水安三先生の教えをもとに「学而事人室」と命名された。推進委員の方々を中心に、「むくげの花の会」が結成され、湖西中学校で朝のあいさつや見守り活動が行われきた。

活動の趣旨として、「学校を支援する」「子どもたちを地域で育てる」「地域を活性化する」という思いをもって活動してくださっており、本年度は各学校の要望を聞き取り、数々の支援をいただくことができた。以下に、各校でおこなわれた支援の1部を紹介する。

【湖西中学校】

- 1年生を対象に生徒の学習等に対する不安を解消しようと＜学習相談ルーム＞が開設された。試験中に利用する生徒も多い。



学習相談ルーム

【新旭北小学校】

- 夏休みの学力補充に中学生が指導に来てくれた。顔見知りの先輩から指導されることによる効果があり、指導した中学生からも教えることによる学びがあるとの声があった。



電動糸鋸の使用支援

【新旭南小学校】

- 図画工作科で電動糸鋸を使用する際や家庭科でミシンを使用する際の指導及び補助にご協力をいただいた。専門的な見地からの支援により、子どもたちの作業効率も高まっている。

現在、湖西中学校の支援を主とする「むくげの花の会」に続き、新旭北小の「希望（のぞみ）の会」新旭南小の「夢の会」が結成され、地域の方や保護者にも各会への登録を募っているところであり、会員数も徐々に増えてきている。

(2) 成果と課題

本年度の成果としては、各校の支援例にも挙げたように、学校教育の様々な場面で支援を受けることができたことである。教師の負担が軽減されるだけでなく、子どもたち一人ひとりへの細やかな支援にもつながっている。保護者やコミュニティの広がりを実感する中で、関わって下さっている方々への感謝の思いを持つと共に、小中学校で支援を受けた子どもたちが成長し、支援する側になってくれることで、さらに大きな輪になってくれることを期待している。

今後は、学校だけで教育を担うのではなく、我々教師自身がさらに視野を広げ、保護者や地域と連携した教育効果について考えていく必要がある。

【3】次年度の構想

(1) 統一日の設定

2学期に統一日を設け、各校園が授業・保育を公開し、全員が授業に関われる機会を設ける。そのために、夏季の全員研修会に事前研究会を位置づける。

(2) 各校園の研究テーマとの関わり

保幼小中一貫教育との関わりを意識して、各校園の研究テーマを設定する。

(3) 地域学校協働本部との連携強化

保護者・地域への情報発信を継続し、保幼小中一貫教育への理解と協力を深める。